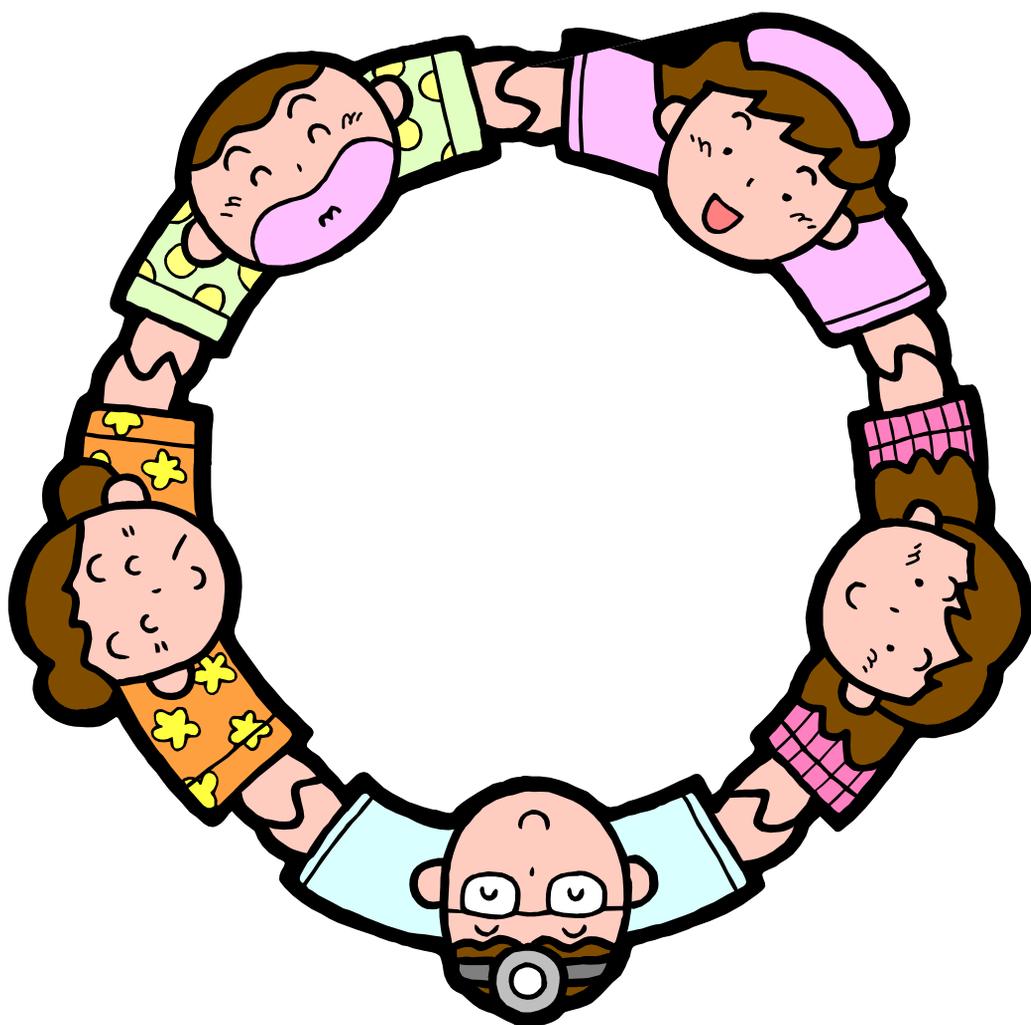


肺がん地域連携パス

「肺がん術後経過観察」連携パス



独立行政法人国立病院機構

大阪医療センター



大阪府がん診療連携協議会

改訂2版

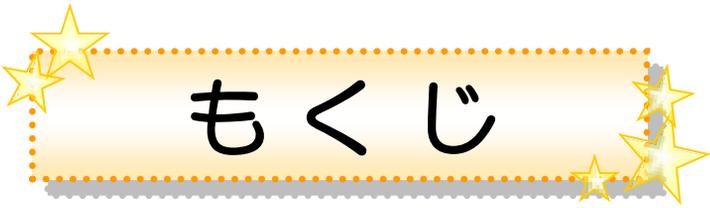


はじめに

【連携パス】とは、あなたと地域の連携医（かかりつけ医）とがん治療の拠点病院の医師が、あなたの治療経過を共有できる「連携診療計画表」のことです。「連携パス」を活用し、かかりつけ医と拠点病院（独立行政法人国立病院機構大阪医療センター）の医師が協力して、あなたの治療を行います。

病状が落ち着いているときの投薬や日常の診療はかかりつけ医が行い、専門的な治療や定期的な検査は大阪医療センターが行いますので、ちょっとしたケガや日常の相談は、まずかかりつけ医にご相談ください。必要に応じて大阪医療センターを受診していただきます。また、**緊急を要する**場合で休日や夜間等に連携医（かかりつけ医）を受診できない場合は、**大阪医療センター（06-6942-1331代表）までご連絡ください。**

この「連携パス」を活用することで、大阪医療センターと地域の連携医（かかりつけ医）とが協力し、患者さんの視点に立った安心で質の高い医療を提供する体制を構築することを目指しています。また、患者さんにとっても長い待ち時間や通院時間の短縮などの負担軽減や、ご自身の治療計画や経過の把握、かかりつけ医の手厚い診療による不安の解消といったメリットにもつながります。



もくじ

退院後の日常生活 【 p.3~p.8 】

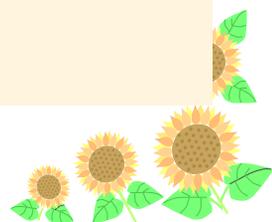
退院後もこれだけは忘れずに！
【 p.9~p.10 】

あなたが受けた手術について 【 p.11 】

メモ 【 p.12 】

「肺がん術後経過観察」連携パス・検査値
貼布スペース
【 p.13~p.14 】

大阪医療センターの各部署・担当等のご案内
【 p.15~p.16 】



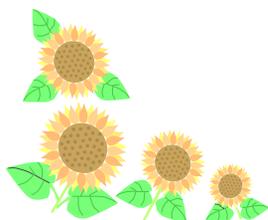
退院後の日常生活



退院おめでとうございます！

手術後まだ症状が残っている方もありますが、次第にその症状も回復してきます。

特に胸部の痛み（神経痛のような又は圧迫されるような痛み）は半年～1年位続くことがあります。しかし、人によっては程度の違いはありますが、通常軽快していきますので安心してください。ご家庭に帰られてからは、次のことに注意して下さい。



退院後の日常生活



1. 日常生活

規則正しい生活を心がけましょう。

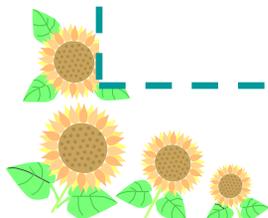
2. 運動

(ヶ月)より始めて下さい。最初に始める運動は散歩やウォーキングからにしましょう。

仕事への復帰やはげしい運動(テニス・ゴルフ・ジョギングなど)は主治医との相談が必要です。

退院時に目安となるパンフレットをお渡しします。

それに加え外来時にその都度相談しましょう。



退院後の日常生活



3. 作 業

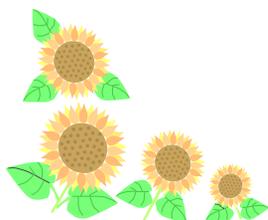
(ヶ月)位より軽労作業に従事できるようになりますが、復職については主治医と相談してください。

4. 睡 眠

一日約6～8時間取るようにして下さい。

5. 禁 煙

タバコは今後の経過に支障があります。
このまま禁煙を続けて下さい。



退院後の日常生活



6. 清 潔

チューブが入っていたところの抜糸は退院後の外来になることがあります。

退院前日に抜糸が終了していない方は主治医もしくは看護師に退院後のシャワー浴とガーゼ交換について相談して下さい。

(テープの交換だけで消毒が不要な場合もあります。)

絆創膏交換の必要物品

防水の絆創膏・消毒薬・滅菌綿棒
など



退院後の日常生活

絆創膏交換の方法

1. 防水絆創膏をはがし傷口の観察をしてください。
2. 消毒液に滅菌綿棒をつけます。
3. 傷口の真ん中から外側に円を描くように消毒をします。
4. 消毒液が乾燥してから新しい防水テープを貼ります。
 - ・使用した滅菌綿棒を消毒液につけないようにしましょう。2度漬け禁止です！
 - ・傷口に赤み・腫れ・ほてり・膿が出るなどの症状があれば、外来で医師に相談して下さい。

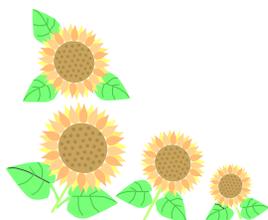
傷口やチューブが入っていたところのかさぶたは自然にはがれるのを待ちましょう。

退院後の日常生活



7. その他

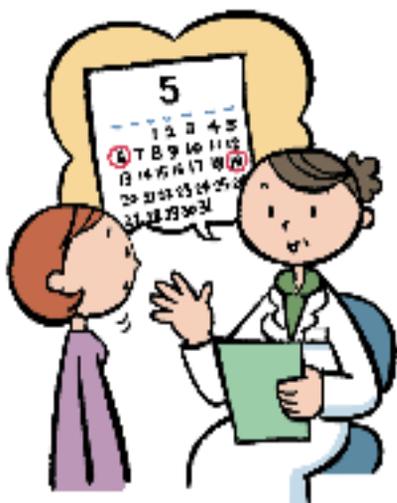
- 1) 風邪を引かないように十分注意して、外出より帰宅時はうがいをしましょう。
- 2) 高カロリー、高蛋白でバランスのよい食事にとりましょう。
- 3) 衣服は深呼吸が十分できるように胸やお腹をしめつけないものにしましょう。
- 4) 痛みのある方は傷を冷やさないようにして下さい。
入浴や温湿布は痛みに対して有効です。



退院後もこれだけは忘れずに！

☆ 定期的な診察や検査に行きましょう

手術後5年を目途に、定期的な診察や検査を行います。診察や検査の間隔は、手術後の状態によって異なりますから、医師の指示通り、決められた日に診察や検査を受けるようにしてください。なお、**定期検査は肺がんを対象としているものです。他の病気をカバーするものではありません。**

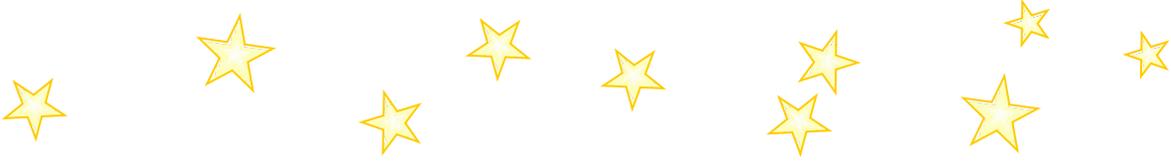


定期的な診察や
検査を

☆ 毎月1回、自己検診を続けましょう

どんな病気でも早期に発見して、早期に治療することが大切です。毎月1回、日を決めて、ご自分で症状をチェックしてください。気になるところがあったら、主治医に相談してください。





指示された薬は忘れずに服用しましょう

病院で処方された薬は、手術後の状態を安定させるためや手術の治療効果を高めるために必要なものです。薬を服用するように医師から指示された場合には、指示された通りに忘れずに正しく服用してください。

副作用がある場合には、医師に申し出てください。



悩んでいるのはあなただけではありません

あなたが安心して治療や検査を続けていくためには、家族とともに医師や看護師さんとのコミュニケーションをよくし、一緒にこの病気と闘っていく気持ちが大切です。

まだまだ不安や悩みがあると思いますが、あなたと同じ経験をされた患者さんはたくさんいらっしゃいます。そして、その多くの方が、病気を克服し、充実した人生を送っていることを忘れないでください。決して自分のからに閉じこもってしまわないように、明るく、希望を持って前進し、病気をしてかえって良かったと思われるような建設的な生活を送ってください。



～ メモ ～

【あなたが手術を受けた日】

平成 年 月 日

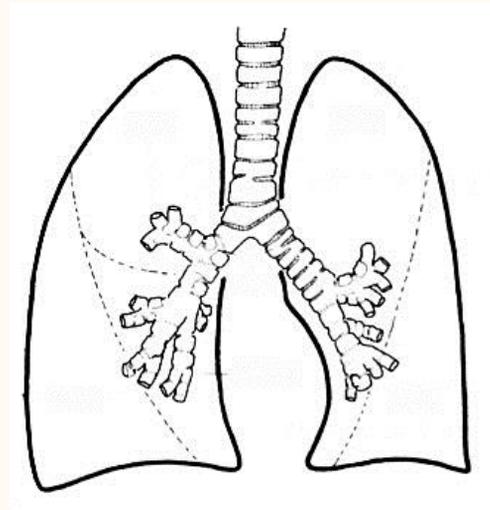
【診断について】

- 1、非小細胞肺癌
- 2、組織型:
- 3、進行度(病理病期): Stage I でした。

T: N: M:

【受けた手術】

- 肺部分切除術
- 肺区域切除術
- 肺葉切除術
- リンパ郭清術



【説明確認事項】

- 術後連携について

地域連携パス(連携診療計画表)による連携診療
および連携医(かかりつけ医)の説明

- 「私のカルテ」について
- 服薬指導

※ 退院にあたって、薬剤の処方がある場合は薬剤師から
服薬指導、服薬記録の説明を行います。

よくお聞き頂いて、理解できない場合はお気軽に
ご質問ください。



～メモ～

・
・
・
・
・
・
・
・

「肺がん術後経過観察」連携パス：連携診療計画表 (手術後～2年6ヶ月)

患者様への説明後、
チェックして下さい。



**連携・連絡
(退院時まで)**

術後連携の説明
手術後後遺症・再発等
発生時の連絡先

患者様用パス説明
 確認の実施

○は必須項目

術後		1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	1年	1年 3ヶ月	1年 6ヶ月	1年 9ヶ月	2年	2年 3ヶ月	2年 6ヶ月
施設		大阪医療センター	連携施設	大阪医療センター	大阪医療センター	連携施設	大阪医療センター	連携施設	大阪医療センター	連携施設	大阪医療センター	連携施設	大阪医療センター
受診日		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
診察		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
血液検査		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
腫瘍マーカー		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
画像検査	胸部X線												
	胸部CT			(○)	○		○		○		○		○
	腹部CT												
	脳MRI			(○)	(○)		(○)		(○)		(○)		(○)
目標	がんの再発がない												
	QOLが維持できている												
自覚症状	息苦しさがある												
	咳が出る												
	血が混じった痰がある												
	体重												
	発熱												
	その他												

内はあなたにご記入いただきます。

気になる自己診断項目を記録し、医師に相談しましょう

～メモ～



「肺がん術後経過観察」連携パス：連携診療計画表 (2年6ヶ月～5年)

術後		2年 9ヶ月	3年	3年 3ヶ月	3年 6ヶ月	3年 9ヶ月	4年	4年 3ヶ月	4年 6ヶ月	4年 9ヶ月	5年
施設		連携 施設	大阪医療 センター								
受診日		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
診察		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
血液検査		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
腫瘍マーカー		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
画像検査	胸部X線										
	胸部CT		○		○		○		○		○
	腹部CT										
	脳MRI		(○)		(○)		(○)		(○)		(○)
目標	がんの 再発がない										
	QOLが維持 できている										
自覚症状	息苦しさ がある										
	咳が出る										
	血が混じった 痰がある										
	体重										
	発熱										
	その他										

内はあなたにご記入いただきます。

気になる自己診断項目を記録し、医師に相談しましょう

～メモ～



独立行政法人国立病院機構大阪医療センター の各部署・担当等のご案内



がん相談支援センター

がん相談支援センターでは、専任の看護師、医療ソーシャルワーカーが患者さんやご家族のほか、地域の方々ががんの治療について知りたい、今後の治療や療養生活のことが心配など、がんの治療にかかわる質問や相談、医療福祉に関する相談等をお受けしております。

相談は、直接、面談にてお話をうかがう方法と、電話にてお話をうかがう方法があり、必要に応じて院内の医師、薬剤師、栄養士、などと連携をとり相談支援にあたっております。



なお、相談は無料となっており、秘密は厳守しますので安心してご相談ください。

窓口開設時間：午前9:00～午後5:00

（月曜から金曜日まで、休日、年末年始を除く）

電話番号：06-6942-1331（代表）



地域医療連絡室

地域医療連絡室では、地域医療機関との医療連携を進め、患者さんに安心して受診していただくため、地域医療機関の先生方と当院医師とのスムーズな連絡・連携の窓口としての役割を果たしています。

看護外来

がんの告知後や手術前後の心理的な不安を抱える患者さん・家族に対し、専門看護師や認定看護師等が医師と連携して予約制で相談にあたっています。また、化学療法に関する相談、リンパ浮腫を予防するためのリンパドレナージ外来等も行っています。

緩和ケア外来

痛みや息苦しさ、倦怠感などの身体的症状や不安などの精神的症状が緩和できるよう、外来通院中の患者さんに対して「心療・緩和科」を設けています。

再診予約変更センター

再診予約変更センターでは、予約日の3日前までの午前9時から午後4時までの間に予約の取り消しや変更を電話で承ります。なお、検査によっては予約の変更はできませんので、その場合は、直接来院のうえ、ご変更ください。

 **電話番号：06-6946-3519(再診予約変更専用)**





独立行政法人国立病院機構
大阪医療センター

あなたのお名前

さん

かかりつけ医

(電話 — —)

病院

科

電話

(代表)

平成29年6月